

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター
公立病院経営強化プラン点検・評価書（令和 6 年度）

※中期計画評価項目と重複部分を除く

第 7 章 施設・設備の最適化

2) デジタル化への対応

プラン	法人の自己評価		市の評価	
	評価の理由/取組状況等	評価	評価の理由等	評価
①医療 DX への取り組み マイナ保険証について、デジタルサイネージや病院ホームページ等でより一層、利用促進への周知に取り組んでいく。 電子処方箋について、令和 7 年 1 月のカルテ更新と合わせて導入予定としている。 AI問診等の導入検討や、電子カルテ更新に向けてHL7 FHIR（医療情報交換のための新しい標準規格）を利用した医療情報の連携に関する対応を行うなど、今後も病院経営の効率化を推進するため、医療DXに関する取り組みを行っていく。 ②情報セキュリティへの対応 医療情報の安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、診療情報データのバックアップや情報セキュリティ対策を徹底するとともに、「佐世保市総合医療センター情報システム業務継続計画書(BCP)」を作成し、適切な医療が提供できるよう、体制の整備に努めている。	①マイナ保険保険証については、院内デジタルサイネージ、ホームページ、広報誌で利用促進への周知に取り組み、利用率は令和 6 年 4 月の 5 %から令和 7 年 3 月には 2 9 %と向上した。 HL7FHIRについては令和 7 年 2 月のカルテ更新時に対応可能な電子カルテを選定し更新を完了させ、今後 HL7FHIRに基づいた医療情報交換への対応が必要となった際も柔軟に適應できる体制を整えた。電子処方箋も同様にカルテ更新時に対応可能な状態に整えたが、全国的に医師資格証（HPKIカード）の発行が遅れ運用の一部が見直されたため令和 7 年度の導入とした。AI問診等については、今後、カルテとの互換性を確認しつつ可否を検討していく。 ②情報セキュリティへの対応として、令和 6 年 9 月に佐世保警察署と連携してランサムウェア感染を想定したサイバー攻撃初動対応訓練を実施した。2 月のカルテ更新時にはオフラインバックアップ装置を導入し診療情報データのバックアップに対応した。今後はBCPマニュアルを医療情報システムの安全管理に関するガイドラインの最新版に沿ったものへと改訂を行う。	A	マイナ保険証については各種取組で利用率を大幅に向上させた。 HL7FHIRについては、カルテ更新時に対応可能な電子カルテを選定し更新を完了させ、必要時に適應できる体制を整えた。 情報セキュリティへの対応については、計画どおりカルテ更新時にオフラインバックアップ装置を導入し診療情報データのバックアップに対応したほか、佐世保警察署と連携してランサムウェア感染を想定したサイバー攻撃初動対応訓練を実施したことから、計画を上回る対応と判断しA評価とする。	A

第 8 章 経営の効率化等

1) 経営指標・経常収支比率及び修正医業収支比率に係る数値目標

目標指標	R6年度 実績①	R6年度 目標値②	達成状況 (①/②)	評価	法人の評価	市の評価
修正医業収支比率（％）	98.6	99.9	98.7%	3	B	B(定量)
現預金保有残高（百万円）	10,209	8,601	118.7%	4	A	A(定量)
借入金残高（百万円）（低）	6,032	6,047	100.2%	4	A	A(定量)

3) 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等

(1) 予算 (単位：百万円)

	R6年度 実績①	R6年度 計画②	R6年度比較 (①－②)	増減理由（主なものを記載）
収入				
営業収益	20,507	20,706	-199	
医業収益	19,600	19,821	-221	入院患者数の減少による入院収益の減
運営費負担金等収益	773	774	-1	
補助金等収益	44	39	5	
その他の収益	89	72	17	
営業外収益	97	68	29	
運営費負担金等収益	12	12	0	
その他の収益	85	57	28	医療賠償保険金による増
臨時利益	0	0	0	
資本収入	1,701	1,662	39	
長期借入金	1,639	1,651	-12	
補助金等収入	34	11	23	新興感染症対応力強化補助金による増
その他の収入	28	0	28	救急車の寄附による増
計	22,305	22,436	-131	
支出			0	
営業費用	20,047	19,900	147	
医業費用	19,645	19,487	158	
給与費	9,094	8,876	218	ベースアップ評価料取得と人事院勧告に伴うベースアップによる増
材料費	7,975	7,880	95	高額医薬品・高額手術材料の使用量増
経費	2,494	2,603	-109	光熱水費・修繕費の減
その他の費用	80	128	-48	研究研修費の減
一般管理費	402	413	-11	
給与費	335	342	-7	
経費	66	69	-3	
その他の費用	1	2	-1	
営業外費用	67	36	31	
支払利息	36	35	1	
その他の費用	31	1	30	医療賠償費用の増
臨時損失	20	0	20	事業中止による損害賠償費用の増
資本支出	2,883	3,078	-195	
建設改良費	2,330	2,516	-186	事業中止による減
償還金	550	550	-0	
その他支出	4	12	-8	
計	23,018	23,014	4	

(注) 百万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

(2) 収支計画

(単位：百万円)

	R6年度 実績①	R6年度 計画②	R6年度比較 (①－②)	増減理由（主なものを記載）
収益の部				
営業収益	20,617	20,809	-192	
医業収益	19,577	19,803	-226	入院患者数の減少による入院収益の減
運営費負担金等収益	773	774	-1	
補助金等収益	44	39	5	
資産見返補助金等戻入	131	122	9	
資産見返物品受領額戻入	5	5	-0	
その他の収益	86	66	20	治験関連収益の増
営業外収益	93	64	29	
運営費負担金等収益	12	12	0	
その他の収益	80	52	28	医療賠償保険金による増
臨時利益	2	0	2	
計	20,711	20,873	-162	
費用の部			0	
営業費用	20,118	20,044	74	
医業費用	19,671	19,586	85	
給与費	9,088	8,871	217	ベースアップ評価料取得と人事院勧告に伴うベースアップによる増
材料費	7,238	7,165	73	高額医薬品・高額手術材料の使用量増
経費	2,276	2,381	-105	光熱水費・修繕費の減
減価償却費	986	1,044	-58	医療機器更新の更新月のずれによる減
その他の費用	83	125	-42	研究研修費の減
一般管理費	447	458	-11	
給与費	335	342	-7	
経費	61	63	-2	
減価償却費	51	51	-0	
その他の費用	1	2	-1	
営業外費用	1,219	1,166	53	
支払利息	36	35	1	
雑損失	1,183	1,131	52	控除対象外消費税の増
臨時損失	20	0	20	事業中止による損害賠償費用の発生
計	21,358	21,210	148	
純利益	▲ 646	▲ 338	-308	

(注) 百万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

(3) 資金計画

(単位：百万円)

	R6年度 実績①	R6年度 計画②	R6年度比較 (①－②)	増減理由（主なものを記載）
資金収入				
業務活動による収入	20,662	20,784	-122	
診療業務による収入	19,640	19,803	-163	医業収益の減
運営費負担金等による収入	785	786	-1	
補助金等による収入	60	39	21	前年度補助金の入金による増
その他の収入	176	157	19	
投資活動による収入	74	11	63	
補助金等による収入	73	11	62	前年度補助金の入金と、新興感染症対応力強化補助金による増
その他の投資活動による収入	0	0	0	
財務活動による収入	1,639	1,651	-12	
長期借入金による収入	1,639	1,651	-12	入札等による購入額の減による借入額の減
前事業年度からの繰越金	9,688	9,408	280	
資金支出				
業務活動による支出	20,358	20,108	250	
給与費支出	9,140	9,212	-72	資金の動かない賞与引当金の増による支出減
材料費支出	6,711	7,165	-454	支払いの期ずれによる減
その他の支出	4,506	3,730	776	支払いの期ずれによる増
投資活動による支出	946	2,585	-1,639	
固定資産の取得による支出	943	2,585	-1,642	医療機器更新の支払いの期ずれによる減
その他の投資活動による支出	4	0	4	
財務活動による支出	550	561	-11	
借入金の償還による支出	550	550	-0	
その他の財務活動による支出	0	12	-12	
翌事業年度への繰越金	10,209	8,601	1,608	

(注) 百万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

総合評価（市）	医療 DX への取組や情報セキュリティへの対応を行い、経営指標に係る数値目標については達成できている。 収支計画においては、入院患者数の減少により入院収益が減少した一方、ベースアップ評価料取得と人事院勧告に伴うベースアップによる給与費の増加、高額医薬品・高額手術材料の使用量増加による材料費の増加により費用が増加し、約6.5億の赤字となった。 R6年度に経営改善プロジェクトを設置し11回開催したほか、部署を超えた事案について検討するため、薬品費・診療材料費など集中的に検討が必要な項目ごとに分科会を立ち上げて個別協議も進めるなど経営改善に取り組んでおり、入院収益の増加や人件費の抑制につなげることができている。 佐世保県北医療圏の中核病院として、住民が必要とする良質な医療を提供するため、引き続き、経営改善を推進していただきたい。
---------	--